

自転車BMXフリースタイル・パーク女子の内藤寧々(17)(第一学院高)が、2年ぶりに全日本選手権を奪還した。日本女子を引っ張る立場で、「世界のレベルに突き放されたいようにしていきたい」と高みを見据える。

この種目はジャンプ台や斜面を組み合わせたコースで、技の難易度や独創性などを競う。2021年の東京五輪で実施され、女子は大池水杜(26)(ビザビ)が7位に入った。

今年9月の全日本で、内藤は空中で後方1回転する「バックフリップ」などを披露して優勝。「高さとスピードに集中してライディングした。いつもよりきれいに乗れた」と語った。

神奈川県茅ヶ崎市に住み、小学6年時にBMXのイベントで関心を持った。「人一倍、びびりで怖かった」というが、魅力にとりつかれ、実力をつけていった。今季はアジア選手権3

17歳内藤 パリへ自信

BMX・パーク女子



技に「集中」全日本奪還



位。ワールドカップ(W杯)を転戦し「海外のコースで、

乗りこなしがうまくなってきた。大会慣れしているのは大きい」と手応えを口にする。
空中でハンドルを回しながら車体を横回転させる大技が武器で、伸び代は十分。安定感が身につけば、さらに強くなれる自信がある。

五輪出場を狙う内藤寧々(4月)＝稲垣政則撮影

今季のW杯ランキングは10位で、パリ五輪の出場枠は12。「結構ギリギリのライン。周りのレベルも上がっているの、難易度が高い技を練習していったら」。国内外で経験を積み、大舞台を目指す。

(井上敬雄)